

職員による自己評価

A環境面

環境・体制は適切である。

B児童への支援内容

支援前の打ち合わせ、支援内容や役割分担の確認、支援後の振り返りを行い共有している。プログラムが固定化しないように工夫している。

C関係機関との連携

地域自立支援協議会等へ積極的に参加している。日頃から子供の状況は伝えて共有理解を行っている。障がいのない子供と活動する機会は少ない。

D保護者への説明責任・信頼関係

保護者から相談に適切に応じ助言と支援を行っている。

E非常対応

年二回地震や津波を想定した避難訓練の実施を行っている。
緊急時対応案内を作成し周知させる。
虐待防止の研修機会の確保をしている。

保護者による評価

A環境面

環境・体制整備は十分な広さはある。パーティションの利用が有り難い。スペースは活動内容にもよると思う。

B児童への支援内容

出来そうなこと、興味や関心のあることを活動の中に取り入れているいろいろなプログラムがあり楽しみにしている。毎月イベントがある。

C事業所からの情報発信

お便りやホームページを見ている。クリスマス会や参観や会報などで機会を作って下さって有り難いです。

D非常対応

年二回の訓練を実施し保護者の方に周知している。

事業所内での分析

【共通点】

- ・プログラムが固定化されないように工夫され、子供たちは楽しみにしている。
- ・連絡帳でのやりとりや面談、送迎時に情報を伝えている。
- ・ブログやニュースレターで情報を発信している。
- ・障がいのない児童との交流は持っていない。
- ・保護者会活動の見解の一致。
- ・避難訓練の実施。

【相違点】

- ・クリスマス会でほかの保護者の方と話せる機会があるので、保護者会を開催なくても良いのではないかと意見がありました。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・常勤・非常勤スタッフの勤続年数が長く児童の特性を共有理解し長期にわたる継続支援が出来る。
- ・卒業後の居場所をフォローできている。
- ・地域資源の利用、(きくなみんなのひろば、スペース弥平の利用)
- ・長期利用の児童に対して関係機関との連携を図っている。
- ・保護者の方や社協の方を招いてのクリスマス会の開催
- ・第三者のダンスの先生を招聘
- ・お出かけ練習をしガイヘルへ繋げる活動

事業所の改善点

- ・非常勤スタッフの研修や勉強会の実施
- ・保護者会の実施
- ・卒業後の支援の充実

事業所の改善への取り組み

- ・活動プログラムの立案を非常勤スタッフを含めて立案への取り組み
- ・関係機関との連携
- ・保護者会等の開催
- ・事業所の行事に地域の方などを招聘

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

・コロナが明け、外出や活動に以前のような地域資源の活用が出来ました。
10年目を迎えて長くご利用いただいている児童も高校生になり、児童の入れ替わりもあり環境面など個別対応に順応するまでは少し時間がかかりましたが、ここ数年スタッフも変わらない体制でしたので上手く活動が出来ました。

2024年3月22日

事業所名 児童デイサービス・アニマート菊名

担当者 管理者 野澤 明